

コミュニティバス利用促進意見交換会（立花地区）

2011年2月25日 13:30～14:30 立花地区交流センター

北上市企画部政策企画課より、あいさつとこれまで行ってきた話し合いの説明があり、コミュニティバス利用促進意見交換会が開催されました。

次年度のコミュニティバスの運行方法および目標人数について



ポイント1

企画～運営～運行～利用促進の「主体」の考え方

- ・運行モードにより各主体は異なる

ポイント2

地域マネジメントの視点の確認

- ・地域は利用・企画・運営（利用促進）を地域マネジメントの視点から推進

ポイント3

モニタリング及びチェックのサイクル(案)の共有

- ・地区の乗降人数を指標とし、モニタリング及び対応策の検討

立花地区の目標人数は

一日当たり **31人**（現状 18人）

また、いわてNPO-NETサポートより、コミュニティバス利用促進のための他市の事例紹介がありました。

意見交換

ロックタウンの売り出しは火曜日が多く、医院は木曜休診が多い。利用者の立場になって、運行の曜日を変更してはどうか。

地域での協議のうえ、同様の意見が多い場合は、検討する。

立花のファミリーマートのところにバス停を新設してほしい。

今後の検討材料にはするが、現時点では運行内容は固まっているので了承願いたい。

距離制でなく、ゾーン制だと近くなのに料金が倍になってしまう。

実際の利用状況に応じて料金を調整したものである。ご理解願いたい。

説明会を行ってほしい。所要時間はどのくらいか。

日程調整のうえ、説明に伺うこととする。所要時間は20分位を想定している。

見直しによって、打ち切りになるということもあり得るのか。

1年半経った時の状況を判断し、運行の方法の協議をする。なくなる前提ではなく、利用促進の方策を地域の皆さまとともに考えていきたい。

目標人数31人に達しないとだめなのか。

運行ルート、運行経費に応じた目標人数である。地域の足を守ることを、皆で考えていくことが求められる。

高齢者の生活の手段として、なくさないですむようによりよい利用促進の策に向け、皆の声が出せればと思う。若い人たちもノーカードの月をつくって利用することも一考すべき。